

里山と
つながる!

先人から学ぶ、 山と農村との つながり

マキノ町

森西地区の棚田

室町期の山城、田屋城があった城山の麓に約50枚からなる棚田の風景が広がります。山奥からの一番水と地下水を使用しお米の栽培がおこなわれています。

この講座は高島市協働提案事業により開催いたします。



先人たちの想いを辿る

山あいに広がる棚田の絶景で知られるマキノ町森西地区。実は、かつて水不足に悩まされていた地域です。そんな歴史を変えたのが、明治時代に完成した長さ300mの「稲山隧道（いなやまずいどう）」。

山をくり抜いて水路を通すという、先人たちの知恵と努力の結晶です。

今回の講座では、この水源を辿りながら山を歩き、昔の人々が山とどのように向き合ってきたのかを学びます。道中では、森西地区のもう一つのシンボル「田屋城跡」にも立ち寄ります。山頂からは、棚田と琵琶湖、竹生島（ちくぶじま）を一望できる絶景が待っています。

夏の高温による湧水が問題になっている今だからこそ、昔の人々の知恵に触れ、未来の自然との関わり方を一緒に考えてみませんか。

講師

峯森 清嗣 氏

先祖代々この土地に暮らし、いちごをはじめ、棚田にてお米の栽培もおこなう。
ミーネ・ファーム代表。

プログラム

9:00 集合（みなくちファーム駐車場）

→稲山登山口到着→講師より挨拶、稲山隧道、棚田と山の関わりについて説明→登山開始→水源到着、講師より説明→下山開始→13時頃帰着

定員

20名

要申込・先着

2025

9/20 土

9/18 (木)
申し込み締切

参加
無料

9:00-13:00 頃

集合場所

みなくちファーム

滋賀県高島市マキノ町蛭口1386-8

※Googleマップ検索で出ます。

参加をご希望の方は以下の二次元バーコードのフォームよりお申し込みください。



<https://x.gd/Ai4s6>

主催 森の実験室

共催

高島市

協力

森西区・森西集落協定

お問い合わせ：0740-20-1271（森の実験室 水口）